

第3回 統合準備委員会

1 開校準備委員会設置要領の改正について

- ・ 会議名の変更、委員任期等の明記など（資料2）

2 第2回意見交換集約結果等について

- ・ （資料3）、（資料4）

3 参考資料

- ・ 統合に係る費用等について（他市事例）
- ・ 統合に係る負担軽減措置等について（国支援例）

2 第2回 委員会意見交換集約結果

- どちらの統合方法の理由にも共通して言及されているのが「子ども」であり、「子ども」にとって、望ましい方法を考えられています。
(アンケート実施結果の統合方法に関する自由意見記載内容も概ね同様)

【共通している視点】
「資料3」 ▶ 「資料4」

「子ども」

【様々な視点】

歴史、愛着

未来、新しさ

費用、労力、安定感

一体感、対等感、活性化

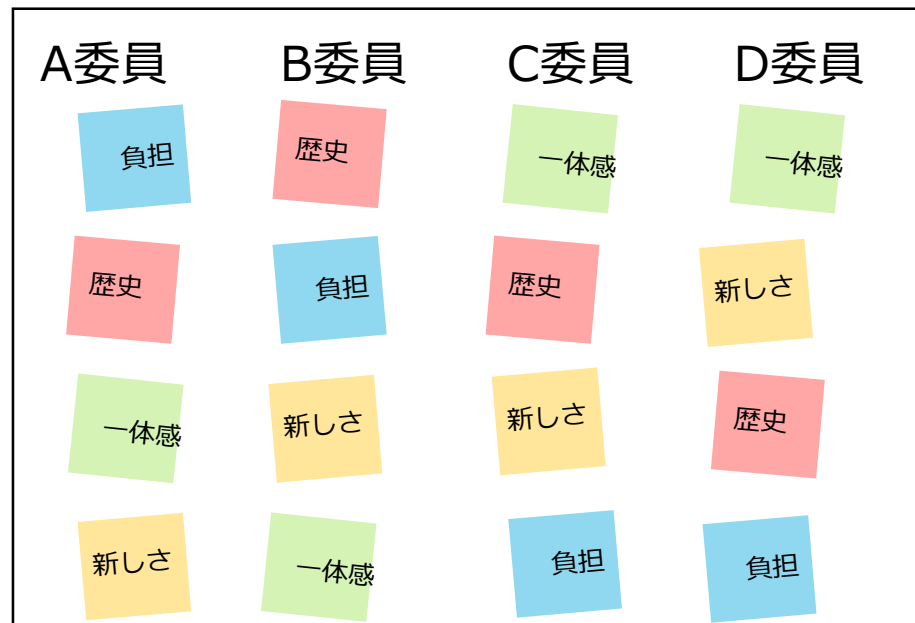
- 様々な視点で言及された意見は、学校に関わるどれも重要な視点ですが、統合方法を検討するに当たっては、どの視点をより大切にしたいのかを検討していく必要があります。その点を今回の意見交換で協議します。

2 第2回 委員会意見交換集約結果

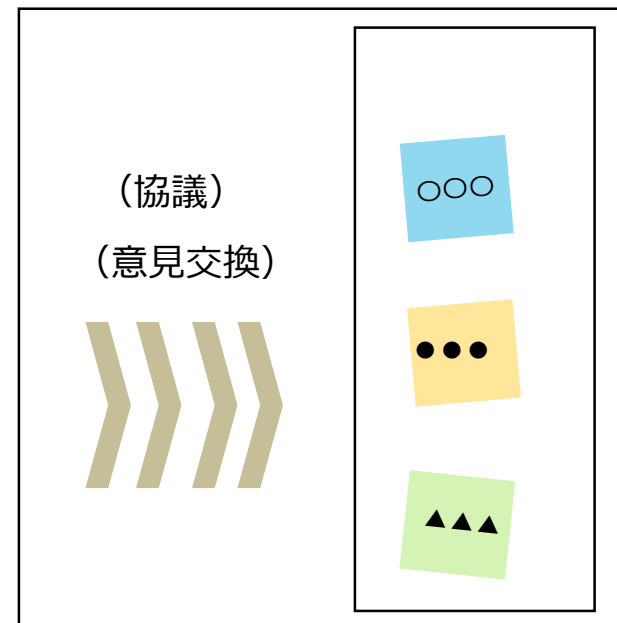
●次回（第3回）会議の意見交換方法(案)

- (1) 学校統合の方法に当たって重視したい視点の確認（グループ）
▶資料4の視点以外に他に重視したい視点がないか協議
- (2) 重視したい視点の優先度と理由の検討（個人ワーク）
- (3) 重視したい視点の優先度協議（グループ）
- (4) 協議結果の共有（会議全体）

【個人ワーク】例



【各グループ】例



- ・統合方法によって、なくなってしまうもの、残り続けるもの、育んでいけるものetc
- ・子どもたちに、どのような学びの場をつくっていきたいか
- ・影響は、今だけのものか、将来にわたるのか 等

3 参考資料

統合に係る費用等について（他市町事例）

費目	A小・中学校	B小学校	C中学校	D小学校
校名	0円（校名公募） 検討：約半年間	0円（校銘板更新40万円、ステージ幕、校歌額180万円） 検討：5か月	0円（一般公募） 検討：9か月	0円（校名公募） 検討：6か月
校歌	20万円（作詞作曲） （校歌額作成250万円） ・歌詞等公募 検討：約1年間	10万円（歌詞入選謝礼） 30万円（作曲・編曲） 検討：約1年間	10万円（作詞・作曲） 4万円（ワークショップ） 検討：約2年間	10万円（作詞・作曲） （校歌額20万円） 検討：16か月
校章	140万円（校旗）	10万円（デザイン謝礼） 2万円（校章旗） 70万円（校旗） 検討：約半年間	10万円（公募費用） 110万円（校旗） 検討：12か月	70万円（校旗） （30万円（舞台幕）） 検討：7か月
学用品	0円（旧校の学用品使用を可とした）	0円（指定なし） 名札のみ市で用意（1人100円）	0円（開校時は旧校の使用を可とした）	0円（開校時から一定期間は旧校の使用を可とした）
閉校記念	240万円（記念誌等）/6校	190万円（記念誌、写真等）/2校 検討期間：1年 ※一部イベント費は地元支出	-	40万円/4校
開校記念	140万円（式典）	13万円	30万円	20万円
（その他）	250万円（パンフ代、看板代等）	-	11万円（公印等）	-
合計	540万円 （開校6校分）	325万円 （開校2校分）	164万円 （開校分計上なし）	140万円 （開校4校分）

※統合時の一時的な費用です。

※統合方法や変更事項によって必要な費用は変わります。

※校歌額や校銘板、その他は合計には含んでいません（本市では校舎改築に伴い統合方法と関係なく見込まれる費用もあるため）。

統合に係る負担軽減措置等について（国支援措置例）

1 教職員定数の加配措置

統合前後の一定期間における指導・運営体制の構築のために活用可能な加配定数を措置

（通常は学級数に応じて配置される教員を増員できる措置）

2 遠距離通学費補助等

学校統廃合を伴う小・中学校等への遠距離通学に要する児童生徒の交通費を負担する市町村の事業に対する補助

（負担割合：1/2、補助期間：5年間、一定距離以上）

3 施設整備への補助

統合に伴う学校施設の新増築事業への補助

（国負担割合：原則1/2）

（通常（統合校でない場合）の国負担割合は1/3）

※上記1～3は、統合方法とは関係なく支援を受けることが可能です。

国の支援措置を活用しながら、子どもや教職員負担の軽減や様々な課題への対応を図るために、統合準備に係る期間を一定以上確保し、計画的に事業を実施する必要があります。